

夏の農作業に「動く日陰」を。

市販のパイプや遮光／遮熱ネットを組み合わせ、圃場に最適なサイズの移動可能な日陰を作ることができるセットです。

夏の熱中症対策と作業効率の向上に貢献します。

ひかげ台車

主な特長：3つのポイント

ポイント1

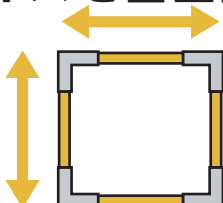
夏の作業負担を大幅に軽減



露地栽培の現場に「移動する日陰」を作り、熱中症リスクを減らします。

ポイント2

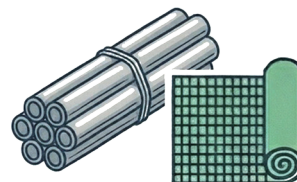
圃場に合わせてサイズを自由設計



市販のパイプを使い、幅・奥行を2～4.5mの範囲で自由に調整できます。

ポイント3

市販の資材で組み立て可能

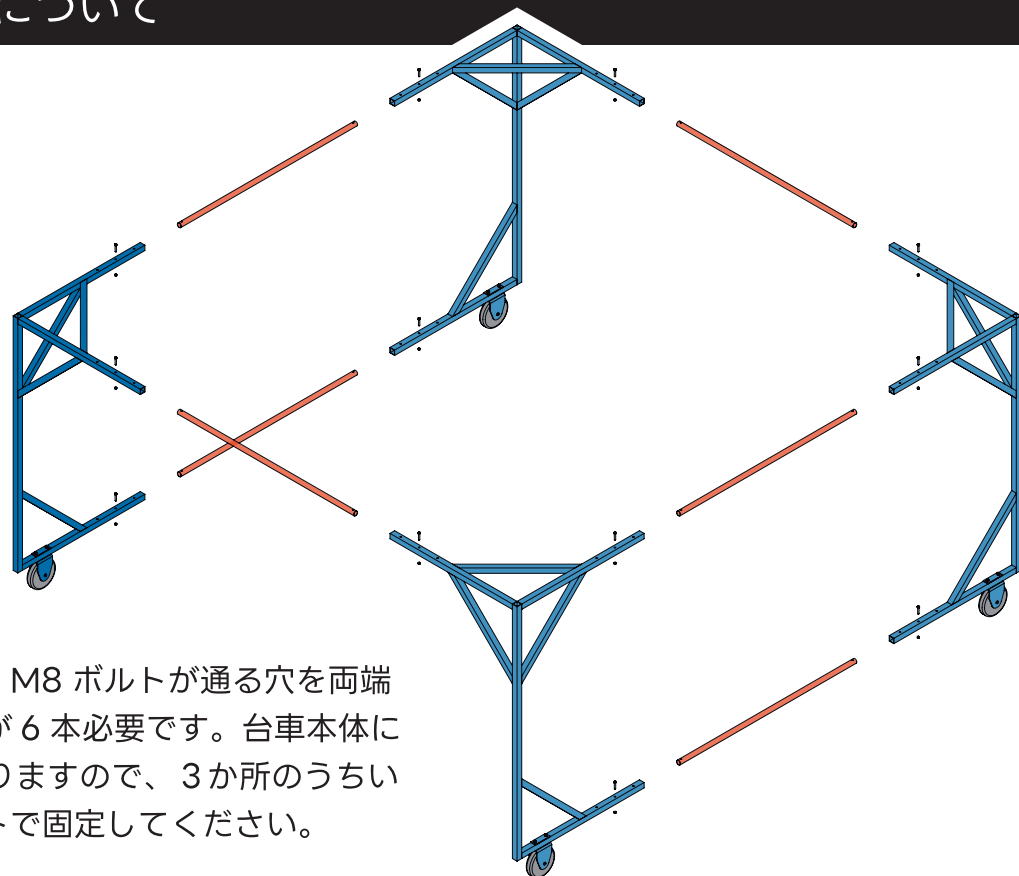


遮光／遮熱ネットを自由に選び、陰を自在に設計することができます。

製品基本仕様

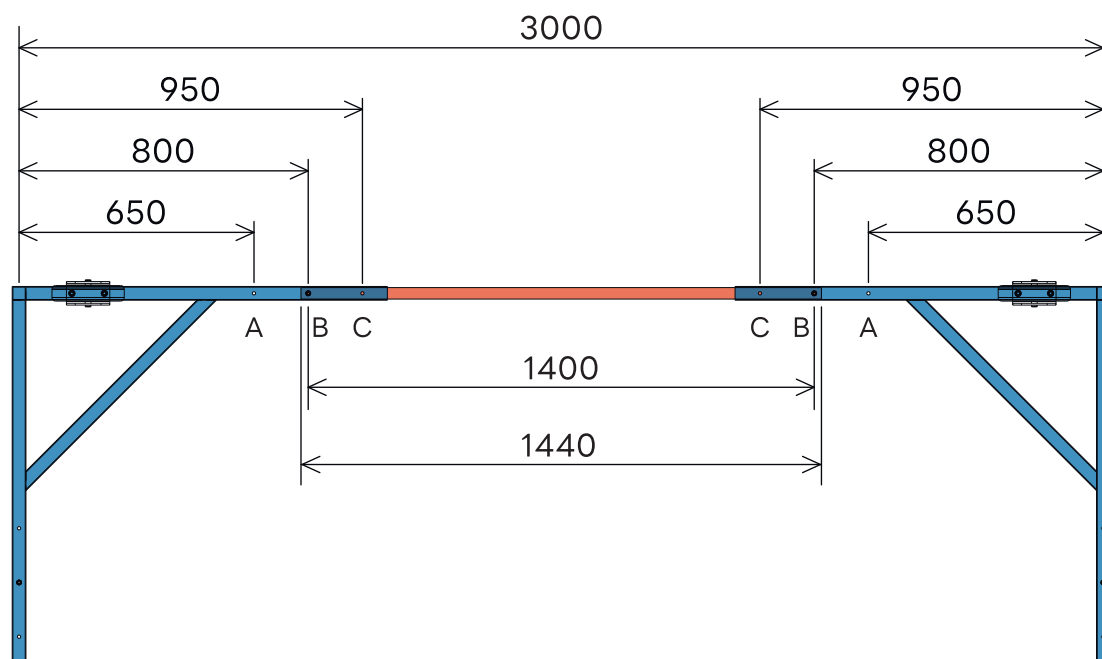
	製品構成	・アルミフレーム × 4 ・車輪 × 4 ・車輪取付用ボルトナット
	組立後サイズ	高さ：2m 幅：2～4.5m（推奨） 奥行：2～4.5m（推奨）
	別途ご用意いただくもの	・φ31.8 鋼管パイプ6本 ・M8×50 ボルトナット 12組 ・遮光ネット／遮熱ネット ・ネット固定具（パッカー、結束バンド等）

ひかげ台車の組み立てについて



ひかげ台車の組み立てには、M8 ボルトが通る穴を両端 1 か所ずつあけたφ31.8 鋼管が 6 本必要です。台車本体には片側 3 か所ずつ貫通穴がありますので、3 か所のうちいずれかと鋼管の穴を貫通ボルトで固定してください。

準備するパイプの長さについて



上は、ひかげ台車の平面図（一部）です。両側とも真ん中の貫通穴（B）にボルトを通す場合、出来上がりの長さ $3000 - (800 + 800) = 1400$ がパイプの穴ピッチになります。そのため端面から 20mm の位置に穴をあけるとすると必要パイプの長さは 1440mm になります。

このとき固定位置を A または C に変えることで、出来上がり長さを ± 300 mm することができます。

- 《A で固定する場合》 パイプ長さ (mm) = 遮光台車 1 辺の長さ - 1300 + 穴から端までの長さ $\times 2$
- 《B で固定する場合》 パイプ長さ (mm) = 遮光台車 1 辺の長さ - 1600 + 穴から端までの長さ $\times 2$
- 《C で固定する場合》 パイプ長さ (mm) = 遮光台車 1 辺の長さ - 1900 + 穴から端までの長さ $\times 2$